



《現状把握》

- ・国語Aは全国平均を0.8%下回り、国語Bは2.5%上回っている。
- ・算数Aは全国平均を0.4%上回り、算数Bは、ほぼ全国平均と同じである。
- ・国語への関心、算数への関心共に全国平均を上回っている。特に算数への関心が高い。
- ・規範意識、言語活動、生活習慣はほぼ全国平均であるが、学習習慣、自尊感情が全国平均をわずかに下回っている。

《授業改善のポイント》

- ・国語については、お互いの考えの相違点や要旨を整理しながら聞いたりまとめたりできるような工夫をしていく。さらに日々の活動の中で、「話す・聞く・書く・読む」の指導が充実するような工夫を行い、豊かな表現力に結びつくような表現活動の機会を積極的に取り入れていく。
- ・算数については、「東京ベーシックドリル」を活用しながら、基礎・基本の徹底を図る。さらに授業の中で既習事項の習熟を確認するなどの工夫をしていく。習熟度指導を効果的に行うとともに、四則計算の技能の定着を徹底していく。また発展的な学習の充実を図り、多様な考え方を引き出せるような声かけをしていく。

《チャートの特徴》

- ・全国平均を1とした正多角形とほぼ同じ正多角形になった。
- ・全国平均とほぼ同じ結果になった。
- ・国語B《活用》、算数の関心は、全国平均をわずかに上回った。
- ・生活習慣、自尊感情は、全国平均をわずかに下回った。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・ラインズeライブラリアドバンス「家庭学習サービス」を実施し、ドリル学習を継続させることで家庭学習の習慣化を図る。
- ・生活リズムの安定向上と自尊感情の醸成について、家庭、地域に働きかけ連携して取り組んでいくようにする。